



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その73

長野県山ノ内町…中野市から、志賀高原へ向かう国道沿いにある「志賀高原ロマン美術館」です。黒川紀章の設計により1997年に完成しました。この時期の黒川氏に特徴的な、ガラスの円錐形が、まるで設計者のサインのように建っています。内部には、外観と呼応する円錐形の展示ケースが暗闇に発光しながら林立する展示室があり、象徴的な空間になっています。

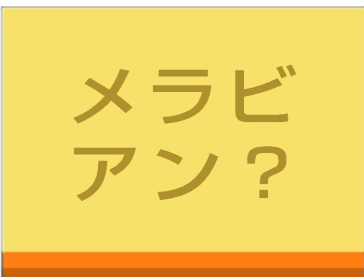
CURRENTLY WORKS



クリニックと連携する靴店のデザイン

足の様々な不具合に、医療の一環としての靴を提供する特殊な靴店です。今回クリニックの建替えに合わせて、隣接地に新築出店することになり建物外観からデザインしています。クリニックのイメージに合わせつつ独立した店舗としての訴求力も必要だと考え、少し傾いたファサードを提案しました。全景にインパクトを与えながら一体感を意図しています。

PRIVATE TOPICS



岡島の接遇心理学・・・「メラビアンの法則」

ご存じの方も多いと思いますが、会話をする場合、①見た目が一番重要 ②内容より表情や仕草が重要、とされています。話者が相手に与えるインパクトは、55%視覚情報(見た目・表情・しぐさ・視線) 38%聴覚情報(声質・速さ・大きさ・口調) 7%言語情報(言葉そのものの意味) と言われますが、メラビアン本人の提唱とは異なることをご存じですか？

EDITORIAL NOTE

8月31日(年により9月1日)は、立春から数えて210日目で「二百十日」と言います。この時季は稲が開花し、実をつけ始める頃ですが、台風により、被害を受けることも多く、警戒が必要な時期です。ですので、注意喚起を促すために「厄日」になっています。地方により、風鎮めの儀式も行われます。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島